

○横浜薬科大学 見学会の様子と生徒の感想



鰐淵准教授による講義の様子



研究室見学の様子

☆参加した生徒から横浜薬科大学の方へのお礼と感想

1年 O.Yさん

講義では、横浜薬科大学のカリキュラムだけでなく、薬剤師になるために必要な能力などや薬学部が4年制から6年制になったことなどを学び、とても勉強になりました。施設見学では、2つの研究室と中央機器室、模擬薬局を拝見しました。最初に見学をした漢方天然物化学研究室の榊原教授には、七味唐辛子と一味唐辛子の違いを説明していただきました。七味唐辛子に含まれる胡麻やみかんの皮（陳皮）などが漢方であると伺い、関心を持ちました。次に見学した天然有機化学研究室には、たくさんの機械がありました。光で物質を分解できる機械や、物質に含まれている水を取り除く機械などがあり、とても興味深かったです。さらに、中央機器室も見学をさせていただきました。中央機器室では、原子が入っているカプセルを運ぶ大きな機械が稼働している様子を見て、とても驚きました。最後に見学した模擬薬局は、実際の薬局を完全に再現していて驚きました。

今回の上級学校見学会を通して、関心を持ったことや勉強になったことが多くありました。この経験を文理選択などで活かしていきたいです。

1年 T.Sさん

今回の上級学校見学会では、薬学部の概要や学科の違いなどの、大学の細かいカリキュラムを知ることができました。特に、4年制と6年制の違いは資格がとれるかどうかだけかと思っていましたが、それぞれの進路の違いによるもので、横浜薬科大学の4年制では中高理科の教員免許がとれるということが分かりました。今後の進路選択に役立てていきたいなと思います。また6年制では、薬剤師を目指す上で必要な、計画的な実行力や他者への理解力、コミュニケーション力などがとても大事だということを知ることができました。施設の見学では、充実した実験器具や器材などを見ることができて、貴重な経験となりました。

1年 C.Yさん

今回の上級学校見学会は、とても有意義なものでした。

「薬科大学＝薬剤師」のイメージが強かったのですが、研究対象は多岐にわたるのだと知りました。私が気になったのは漢方薬学です。日常で使われている食材が、実は漢方だったと知ったときは驚きました。特にみかんの皮とシナモンは意外でした。また、校内に模擬薬局が設置されているなど、学生が学びたいことを全力でバックアップしてくれる施設が多くあり、やりたいことを徹底的に研究できる環境に魅力を感じました。

私は今まで、大学にはとりあえず進学したいという漠然とした考えしか持っておらず、「何をしに行くのか」「卒業後何をしたいのか」は全く考えていませんでした。そのため、今回の経験を今後の進路選択に役立てていこうと思います。ありがとうございました。